



素敵な人生

素敵なパートナー



男女共同参画推進懇話会

委員 満口 敏博

ＬＧＢＴ、性的少数者（性的マイノリティ）という言葉を知っている人は多いと思います。

簡単に解説すると、ＬＧＢＴは「Ｌレズビアン（女性の同性愛者）」、「Ｇゲイ（男性の同性愛者）」、「Ｂバイセクシャル（両性愛者）」、「Ｔトランスジェンダー（心と体の性が一致しない人）」の頭文字であり、他にも「インターセックス（身体的に男女の区別がつきにくい人）」、「アセクシュアル（無性愛者。同性も異性も好きにならない人）」、「クエスチョニング（自分の性別や性的指向に確信がもてない人）」などＬＧＢＴ以外の人たちも含めて性的少数者（性的マイノリティ）

と言われています。人口割合でい



うと全体の５～７％になります。しかし、性的少数者のほとんどは、差別的に見られることに悩んでいます。多感な思春期だとおさらだと思えます。この悩みは本人の問題でなく、周りの人たちが受け入れるかどうかです。自分の子どもが、仲のいい友人が、会社の同僚が、お隣さんが性的少数者だとしたらどうしますか。ちなみに私は東京に住んでいたときに、ゲイの友人が多くできました。熊本地震の直後、最初に心配の電話をしてきてくれたのも東京に住んでいるゲイの友人でした。私の周りのゲイの友人は明るく、優しい人ばかりです。性的少数者の人を偏見の目で見ることなく、個人と個人のつながりで正面から向き合って接することが大切だと思います。

部門別職員数の状況と主な増減理由 (各年 4月1日現在)

		職 員 数		対前年増減数	主 な 増 減 理 由
		平成28年	平成29年		
一 般 行 政 部	議 会 議 事 課	5人	5人	3人	業務増による人員増
	総務課	95人	98人	1人	業務増による人員増
	民生部	25人	25人	1人	業務増による人員増
	労働農林水産土木	29人	30人		
特 別 行 政 部	小 計	21人	22人	1人	
	小 計	14人	14人	2人	業務増による人員増
公 営 企 業 等 会 計 部 門	教 育 防 衛	8人	8人		
	小 計	28人	30人		
合 計	小 計	225人	232人	7人	
	小 計	63人	57人	△6人	事務の民間委託による人員減
公 営 企 業 等 会 計 部 門	病 院 通 道 他	9人	9人		
	小 計	6人	6人		
合 計	小 計	20人	20人		
	小 計	35人	35人		
合 計		323人	324人	1人	

職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

1 週間の勤務時間	開始時間	終了時間	休憩時間
38時間45分	8：30	17：15	12：00～13：00

年次有給休暇の取得状況 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)			
総付与日数	総使用日数	全対象職員数	平均使用日数
11,424日	2,667日	299人	8.9日

職員の分限及び懲戒処分の状況

処分者数 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)		
処分の種類	処分者数	処分事由
分限処分	免 職	0人
	休 職	5人
	降 任	0人
	懲 戒	0人
懲戒処分	免 職	0人
	停 職	0人
	減 給	0人
	戒 告	0人

職員の服務の状況

全ての職員は、全体の奉仕者として公共の利益のため勤務し、職務遂行に当たっては全力で専念しなければなりません。職員には、命令に従う・秘密を守る義務や信用失墜行為・争議行為の禁止、営利企業などの従事・政治行為の制限などが課せられています。

職員の研修の状況

研修の実施状況 (平成28年4月1日～平成29年3月31日 総務課所管分)		
区 分	研 修 名	受講者数
中央等研修	市町村アカデミー研修	5人
	国際文化アカデミー研修	2人
県研修協議会主催研修	新規採用職員研修	15人
	新規採用職員フォローアップ研修	15人
	新任課長研修	8人
	新任係長研修	14人
	一般職員（1部）研修	6人
	一般職員（2部）研修	4人
	各種専門研修	6人
その他研修	各種IT研修	17人
	実務研修等	44人
職員全体研修	官民連携推進職員研修（全5回）	15人
	ハラスメント職員研修	276人
新規採用職員研修（全4回）		15人
新規採用職員自衛隊研修		14人

職員の福祉の状況

健康診断の状況 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)			
区 分	対象者数	受診者数	備 考
人間ドック	276人	107人	対象：30歳以上の職員
定期健康診断	325人	239人	受診者には人間ドック受診者を含む

市職員の給与などを公表します

●問い合わせ先

総務課 人事班（合志庁舎） ☎248-1112

職員の任免、職員数と給与などの状況

職員の任免・職員数				
区 分	職員数	採用者数	退職者数	職員数
	H28.4.1現在	(H28.4.2～H29.4.1採用)	(H28.4.1～H28.3.31退職)	H29.4.1現在
一 般 職	298人	17人	16人	299人
技能労務職	25人	0人	0人	25人
合 計	323人	17人	16人	324人

※採用者数、退職者数には派遣職員を含みます。

職員給与費の状況（一般会計予算）					
区 分	職員数 A	給 与 費			
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B
平成29年度	312人	1,145,322千円	162,518千円	438,140千円	1,745,980千円

※1 職員手当には退職手当を含みません。

※2 給与費は当初予算に計上された額です。

職員の平均給料月額・平均給与月額・平均年齢の状況 (平成29年4月1日現在)					
一 般 行 政 職			技 能 労 務 職		
平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
309,100円	351,173円	41歳6月	328,200円	344,317円	50歳0月

(注) 平均給与月額は、扶養手当などが含まれ、期末勤勉手当、退職手当を除いた額です。

職員の初任給の状況 (平成29年4月1日現在)					
区 分	試験区分	合 志 市		国	
		決定初任給	採用2年経過日給	初 任 給	採用2年経過日給
一般行政職	大学卒	176,700円	188,600円	178,200円	190,100円
	高校卒	144,600円	153,000円	146,100円	154,500円
技能労務職	高校卒	144,600円	153,000円		

職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況 (平成29年4月1日現在)				
区 分	学歴区分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	248,367円	277,538円	345,500円
	高校卒	213,050円	247,450円	300,350円
技能労務職	高校卒	213,050円	253,850円	294,500円

一般行政職の級別職員数の状況 (平成29年4月1日現在)							
区 分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級
標準的な職務分類	主 事	主 事	主 幹 査	主 幹	課 長 補 佐	課 長	部 長
職 員 数	34人	20人	76人	29人	44人	27人	8人
構 成 比	14.3%	8.4%	31.9%	12.2%	18.5%	11.3%	3.4%

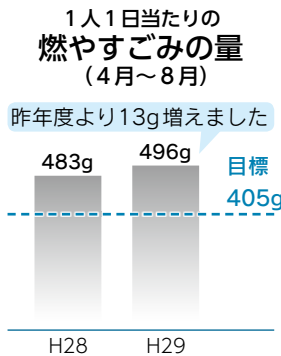
※一般行政職員とは、一般職のうち公営企業職員などを除いた職員です。

職員手当の状況			
区分	合 志 市	国	
期 勤 末 手 当	(平成28年度支給割合)	(平成28年度支給割合)	
	期末手当	期末手当	勤勉手当
	6月期 1.225月分	6月期 1.225月分	0.750月分
	12月期 1.375月分	12月期 1.375月分	0.950月分
	計 2.600月分	計 2.600月分	1.700月分
退 職 手 当	職務上の段階、職務の級などによる加算措置	職務上の段階、職務の級などによる加算措置	
	有	有	
	平成29年4月1日現在(支給率)	平成29年4月1日現在(支給率)	
	勤務年数 自己都合 勤続20年 20.445月分 勤続25年 29.145月分 勤続35年 41.325月分 最高限度額 49.590月分 (その他の加算措置)	勤務年数 自己都合 勤続20年 20.445月分 勤続25年 29.145月分 勤続35年 41.325月分 最高限度額 49.590月分 (その他の加算措置)	
	退職時 定年前早期退職特例措置 2～45%加算 特別昇給 無	退職時 定年前早期退職特例措置 2～45%加算 特別昇給 無	

特別職の報酬の状況		
区 分	給 料 月 額 など	
給 料	市 長	825,000円
	副市長 教育長	634,000円 565,000円
報 酬	議 長	440,000円
	副議長 委員長 議員	390,000円 380,000円 370,000円
期末手当	市 長	(平成28年度支給割合)
	副市長 教育長	6月期 1.225月分 12月期 1.375月分 計 2.600月分
議 長	市 長	(平成28年度支給割合)
	副議長 委員長 議員	6月期 1.225月分 12月期 1.375月分 計 2.600月分



燃やすごみの量を減らしましょう



4月から8月までの1人1日当たりの燃やすごみの量は、昨年度同時期と比べて13g 増えていきます。各家庭で燃やすごみの減量に取り組んでいきましょう。

資源物J（プラスチック類）の分別にご協力ください

資源物Jのプラスチック類の中に違う物が混入したまま出される事例が多く発生しています。

資源物Jを出すときは、プラスチック類以外のものが入っていないか、もう一度確認をお願いします。

違反事例 ①食べ物が付着したままのトレーを出している

②ビン、缶がプラスチック類に混入している
③たばこの吸い殻や使用済みの紙おむつが混入している
④液体洗剤や調味料など中身が残ったままの容器が混入している

油流出事故が多発 徹底した管理をお願いします

最近、貯油（廃油）タンクから油が流出する事故が多発しています。これは、ふたを開けたままにしていることで、タンク内に雨水が入って油が溢れ出たり、タンクが倒れて油が流出したりすることが原因です。

油流出事故が発生すると、河川や井戸などの汚染や悪臭発生による生活環境への悪影響が生じてしまい、魚介類のへい死や農作物被害など経済的な損失が発生します。また、事故の発生者は原因究明や拡大防止、油の回収や復旧作業、損害賠償への対応など、多くの労力と経済的な負担を背負います。これから油を使う機会が増えます。ふたは閉まっているか、タンクは固定されているかなど、徹底した管理と点検を実施しましょう。